



梅だより

Shokei Gakuin University Library Mail No.62



“すでに調理された食品があふれ、
24 時間いつでも手に入る世の中ですが、
逆に体は飢えているのかもしれない。”

『ちょっと具合のよくないときのごはん』岩崎啓子, 石川みずえ (2013) P. 11

Contents

図書館 道案内
まちづくりに
興味がある人におすすめの本
読書の扉
新着図書紹介
表紙の言葉
利用案内
開館カレンダー(10~12 月)

図書館 道案内

セミナールームを利用してみよう！

以前、図書館で勉強するおすすめ場所として学習室を紹介しましたが、今回はグループ学習におすすめのセミナールームを紹介します。



グループ学習では1階のコラボックス2が人気ですが、パソコンを利用しなくてもよい場合はぜひ2階のセミナールームも利用してみてください。コラボックス2より空いていることが多いですよ。3人以上の利用で申し込むことができます。

利用の際はカウンターでお申し込み下さい



視聴覚機器も利用できる、広いセミナールーム 1も3人以上であれば利用が可能です。なお、当日利用ではなく予約して利用したい場合は図書館の資料を使用することが必須条件となりますのでご注意ください。(詳しくはスタッフまで)

★利用の注意

- ・防音ではありません。声の大きさに注意してください。
- ・次の利用者のことを考え、机は綺麗に利用してください。消しゴムのカス等は持ち帰るようお願いします。

まちづくりに興味がある人におすすめの本

おすすめ本紹介も3回目を迎えました。今回は「まちづくりに興味がある人におすすめの本」です。最近「コミュニティデザイン」「ソーシャルデザイン」など、「デザイン」が幅広い意味で使われるようになりました。響きはカッコイイけど、実際はどんなことなの？と思っている人にぜひ読んでほしい本です。

『まちの幸福論』

コミュニティデザインから考える

山崎亮

NHK「東北発☆未来塾」制作班

NHK 出版 開架 318.8||My

コミュニティデザインについての入門本。著者の経歴や事例を交えつつ、わかりやすく説明しています。

『住み開き』

家から始めるコミュニティ

アサダワタル

筑摩書房 開架 361.7||As

コミュニティデザインの本としては異色かもしれませんが、ユニークな発想が満載で驚きながら読めます。

コミュニティが元気になる
30のアイデア

『地域を変えるデザイン』

issue+design project

英治出版 開架 601.1||Ci

グラフやカラー写真が多く使われていて、ボリューム十分。本を読むのが苦手な人にもおすすめです。

★「まちづくり」は身近なことから始められます。内容も読みやすくなっていますよ！

この著書は、脳性まひが催眠中に動かない腕が拳がったことをヒントに成瀬悟策氏が動作(こころという主体的な力によって体を動かし、動く現象を動作という。それは動物一般にとって生ける証であり、その点ではミミズも昆虫も変わらない)をテーマに書いています。動作法は、ひとの心理的不調は姿勢や動作に現れるので、からだの動かし方や動かす努力の仕方を工夫することによってひとの生きざまが変わるという治療法であります。クライアントがより自由、能動、自然にからだを動かすように努力する心理的過程で望ましい体験を援助する心理療法でもあります。そのために、クライアント自らが動作に現れている不調を確かめ、認識し、自身でその変化・軽減・解消を図って努力・工夫するプロセスが大事になります。そのプロセスでクライアントがそれまでとは違う新しい体験の仕方を獲得できるようにセラピストが動作努力を引き出すように援助することが課題となります。動作を扱うことで心理的問題の原因や過去に遡らずとも現在ただ今のこころの在り方へ対応することができるのです。

ぜひ学生さんも自分の姿勢の歪みや動きにくさに関心を持ち、自分で弛めたり、動かしたりしながらストレスにめげず、心の安定を図って下さい。

『からだどころ
身体性の臨床心理』
成瀬悟策 誠信書房

人間心理学科 三好 敏之 先生のおすすめ

【開架】

146
Na

読書の扉 読書の秋スペシャル

今号も2本立てでお送りします



1722年4月5日復活祭の日、オランダ人探検家のロッセフェーンは、太平洋の真ん中に位置するイースター島を発見する。島は高い木も茂みもないまったくの荒地で、3000人余のミクロネシア人は粗末なカヌーに乗り、貧しく争いの絶えない生活を営んでいた。その中で、異様な様を呈していたのが、放置された何百もの巨大な石像群、モアイである。いったいミクロネシア人は、高い木も十分な道具もないこの島で、巨大なモアイをどうやって建てたのか？そして、この石像を建てた文明は、どこに消えたのか？石像群を前にして、誰もが持つ疑念であろう。

研究が進むにつれ、文明崩壊の原因は、ミクロネシア人の後先考えない経済活動と部族間闘争の結果だということがわかってきている。なんと、昔はこのイースター島も樹木の緑に覆われた豊かな島だったそうである。

「歴史から私たちは何を学ぶべきか。」この本は数々の文明崩壊の原因を紐解きながら、現代に警鐘を鳴らしているのかもしれない。

『文明崩壊
滅亡と存続の命運を
分けるもの』

(上)・(下)

ジャレド・ダイアモンド著
榎井浩一訳 草思社

【開架】

204
D
1

204
D
2

環境構想学科 東 愛子 先生のおすすめ



新着図書紹介

『デザイナーになる。:伝えるレイアウト・色・文字のいちばん大切な基本』
永井弘人 エムディエヌコーポレーション/インプレス(発売)

『哲学な日々:考えさせない時代に抗して』 野矢茂樹 講談社

『紋切型社会:言葉で固まる現代を解きほぐす』 武田砂鉄 朝日出版社

『地域おこし協力隊:日本を元気にする60人の挑戦』
椎川忍[ほか]編 学芸出版社

『池上彰が世界の知性に聞く どうなっている日本経済、世界の危機』
池上彰 文藝春秋

『へろへろ:雑誌『ヨレヨレ』と「宅老所よりあい」の人々』 鹿子裕文 ナナロク社

『管理栄養士・栄養士のための困りごと相談ハンドブック』
早野貴文編集代表/木戸康博,下浦佳之編集 新日本法規出版

『ファストファッション:クローゼットの中の憂鬱』
エリザベス・L・クライン著/鈴木素子訳 春秋社

『カメラを持って、町へ出よう:「観察映画」論(知のトレッキング叢書)』
想田和弘 集英社インターナショナル/集英社 (発売)

※配架場所が新着図書コーナーから開架に移動している場合があります

利用案内

貸出の種類		通常	長期休業	卒業研究	実習
貸出冊数	学生	7冊	10冊	5冊	7冊
	院生	20冊			
	地域	2冊	—		
貸出期間	学生	2週間	期間内	1ヶ月	5週間
	院生	1ヶ月		—	
	地域	2週間	—		

図書館開館カレンダー

10月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

11月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

通常開館 9:00~19:00

短縮開館 9:00~16:00

土曜開館 10:00~14:00

休館日

- ⇒ 2F ブラウジングコーナー及びセミナールームは 8:30 より利用可能です。
- ⇒ 毎週月・木曜日の礼拝時間中(10:30~11:10)は一時閉館となります。
- ⇒ 臨時開館時間や臨時閉館についてはホームページや掲示板でお知らせいたします。
- ⇒ お問い合わせ先 ☎022-381-3440 ✉library@shokei.ac.jp

表紙の言葉

『ちよつと具合のよくないときのごはん
病院に行くほどじゃないけど、からだの不調を感じるときに』

普段の食事は特別意識して作ったり食べたりするものではありませんが、意識する、しないに関わらず、体にとってはそれだけ命綱です。取り敢えず食べられればいい、という考え方もありますが、そこからもうひとつ先を考えて食事をする、体調だけでなく精神面にもよい影響を与えるのかもしれない。この本にはレシピはもちろぬ、人にとって食べるということがどういうことか、やさしくわかりやすく書かれています。

開架 498.58|Iw